

寂しい思いをさせた 乗務報告

〒25

2008.4.27

JR東海労東二運分会

みなさん！ 先に所内誌の宣伝です、よろしいですか

おなじみの所内誌にチーム“とうにゆ”新年度の挑戦課題を西原所長と各科長が書いています。即、捨てたり置き忘れないで目を通したみなさんはどのように思いましたか。

共通するのは、“頑張れ自己啓発”だと思いませんか。所長は、運輸所の使命のひとつとして「新幹線を日々しっかりと支えること」を挙げ、さらに「総合力」を強調し、そのためには「一人ひとりが自分の弱いところを把握し、自己啓発などによって自分の責任で高いレベルを維持しておくことが私たちの一つめの大切な使命」としています。他の4科長も所長に追随する内容です。

わたしたちは責任を持って仕事をしています。これは、不断の努力によって裏打ちされています。しかし所長の言う「自分の責任で」、はあくまでも自発的な「自己啓発など」が前提の責任です。その「自己啓発」の強制をごまかすために「など」としているのです。担当助役に言われなくても、早め出勤、居残り、休日勤務、QC、業研「など」を楽しくやりましょうということなのです。

みなさん！ 前置きが長くなりましたが、本題です

ある車掌長の乗務報告に対して東海労組合員が怒り心頭だということはお知らせのとおりです。その後、車掌長からの「指導の押しつけ」があっというやな思いをしたという経験談など幾つか聞きました。その話を聞いていて何とも寂しい思いがしました。

わたしたち東海労は、動く監視カメラにはならないことを明らかにし、乗務報告でも主任としての報告が特にない時（報告がある時はしっかり報告している）は、「主任としての報告は特にありません」と報告しています。その時の会話はこんな感じです

助 役・主任として何かしてきたでしょう。

乗務員・私は主任ですから、主任として仕事をしてきました。

助 役・主任として仕事をしたと言いましたね。それを書いてください。

乗務員・主任として仕事をしてきましたが、報告は特にありません。

助 役・指示に従わないんですね。業務指示違反です。ペタツ（シャチハタ）

こんなやり取りが繰り返されています。しかし、指示に従って書いてしまうと「虚偽の報告」になってしまいます。こんな変な報告を書けと言うことが許されるのでしょうか。気を付けないと、知らないうちに同僚との間に楔(WEDGE)を打ち込まれますよ。

「取りあえず なんでも書けと 取りあわず」

M C 灰 爺